



## 1、成績請求情報の提供手続・国公立大の出願に向けて

1月26日（月）～2月4日（水）の期間で、国公立大の前期・中期・後期日程の出願期間となります。志願者は、各大学の大学入学共通テストを利用した選抜区分に出願する場合、**成績請求情報（各大学が大学入試センターに志願者の大学入学共通テストの成績を請求するための情報）**を志望大学へ提供するための手続が必要です。また、国公立大の出願においては、コンパス・バンザイシステムを参考にして志望校を決めます。その際、ドッキング判定に使用されるデータは、共通テストの自己採点の結果と、10月に実施された第2回ベネッセ・駿台記述模試（コンパス）、第3回全統記述模試（バンザイ）の結果となります。約3カ月前に実施されたものであるため、今現在の学力（記述力）を確認することは困難であると思われます。そして、国公立大では2次（個別）試験の得点が合否に大きく影響します。

そこで、今年度から導入される「Web方式」、「チケット方式」の確認と、国公立大への出願の参考になる各予備校から発表されている「得点度数分布」（ベネ駿）・「大学別学力分布」（河合塾）について、ご紹介します。

### （1）成績請求情報の提供手続 ※大学入試センターHPより

手続の方式には、2通りがあります。志望大学の募集要項等で大学が指定する方式・手続方式を確認し、定められた期間内に手続を行ってください。

#### ①「Web方式」

##### 【手続の流れ】

①共通テスト出願サイトから「申込番号」を確認

共通テスト出願サイトのマイページ上にある「出願内容確認・訂正」から「申込番号」を確認。

②志望大学の出願サイトでの入力

志願者は、志望大学の出願サイト上で「申込番号」等を入力。（注2）

②で入力された「申込番号」等により、志望大学の出願サイトと共通テスト出願サイトがWeb上で連携され、志望大学が成績請求情報を入手。

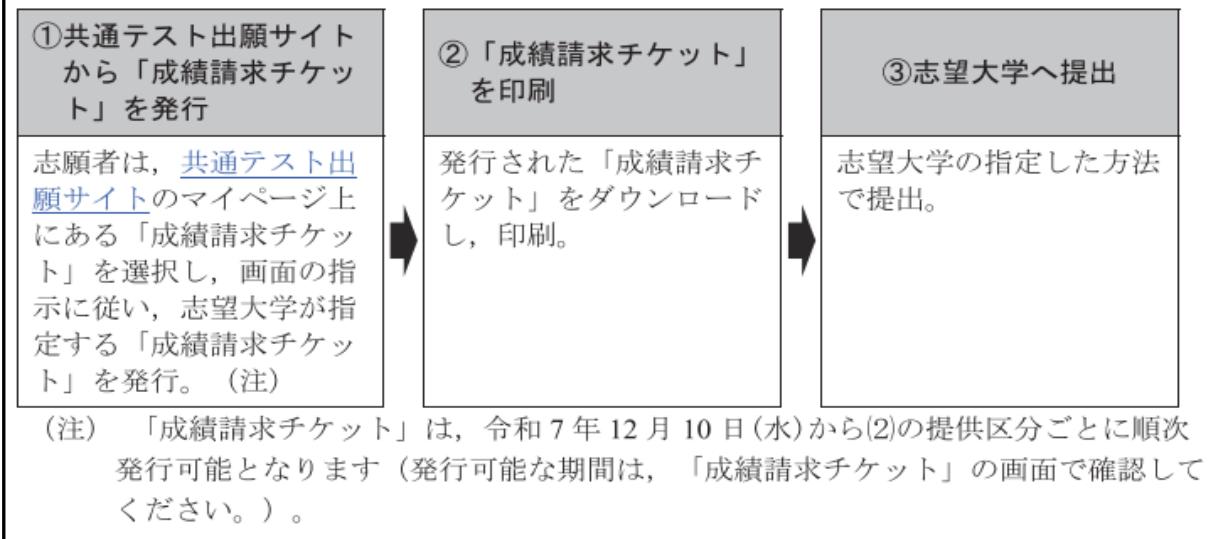
（注1）「申込番号」等とは、共通テスト出願サイトの「ユーザID（メールアドレス）・パスワード」及び「申込番号」のことです。なお、「申込番号」は、出願後であれば、隨時確認できます。

（注2）共通テスト出願サイトの「ユーザID（メールアドレス）・パスワード」は、連携のための認証のみに使用され、志望大学には提供されません。

志願者が、志望大学の出願サイト上で「申込番号」等（注1）を入力することで、志望大学の出願サイトと共通テスト出願サイトがWeb上で連携され、大学入試センターから志望大学に成績請求情報を提供する方式です。

## ②「チケット方式」

### 【手続の流れ】



志願者が共通テスト出願サイトから成績請求情報が記載された「成績請求チケット」を取得し、志望大学に提出する方式です。

## (2) 「得点度数分布」(ベネ駿) から、国公立大の出願を検討

【例】埼玉 経済 (一般選抜枠) 前期 ※ 資料は【2026年ベネ駿データリサーチ】HPに掲載

埼玉大		経済				
		一般枠 前				
基準	685	B	660	635	605	
共テ：2次			950	500		
1段階倍				/		
定員	195		昨年倍率	2.4		
			昨年度			
得点	今年	昨年	合格	不	合	
750	3	12	14			
745		4	2			
740	5	13	2			
735	7	23	10			
730	12	25	3			
725	13	29	6			
720	17	35	8			
715	22	41	11			
710	29	49	11			
705	37	56	10	2		
700	39	66	A	10	2	
695	46	74	11	5		
690	50	82	10	7		
685	A	60	84	4	4	
680		67	97	21	3	
675	79	106	B	13	6	
670	99	128	17	18		
665	112	141	4	15		
660	B	124	155	7	12	
655		141	173	7	22	
650		162	192	C	7	
645		186	215	8	14	
640		203	235	1	14	
635	C	231	268	4	17	
630		253	288	1	7	
625		272	306		10	
620		290	333	D	12	
615		306	347		6	
610		326	363		4	
605	D	347	384	2	8	
600		368	410		6	
595		390	424	1	5	
590		401	441	1	4	
585		418	452		2	
580		436	467		4	
575		450	480		4	
570		468	497		3	
565		483	506		4	
560		495	515		1	
555		505	530	3		
550		516	542		3	
人数	651	675	207	269		
平均	603	608	693	625		
得点率	63.4	64.0	72.9	65.8		
対昨年	-5	-5	+100	-24		

【共テ科目】 6教科8科目 情報50点 → 950点  
(100点→50点で換算)

【2次科目】 英・数・国から2科目 → 500点

【昨年度の合格最低点(総合)】 931.48点／1450点

① (今年) 共通テストの得点が 663 点の場合

→ 左図をみると、全体の 112～124 人の中に該当 (赤線) 「B」 判定

② (昨年) で確認すると、112～124人は 106～128 人の中に該当 (青線) (663点) (約670点) 「C」 判定

③ 昨年度の合格最低点は、約931点だったため、 $931 - 670 = 261$ 点(約52%)を2次(個別)試験で得点できれば、合格者の分布の様子(オレンジ枠)からも合格の可能性が高くなります。  
しかし、「A」判定内に共通テスト700点(12人) → 2人不合格、「C」判定内に共通テスト635点(21人) → 4人合格という具合に2次(個別)試験の配点が500点のために、結果によっては逆転を許す(する)ことも十分にあり得ます。最後まで油断せず、粘り強く学習することが必要です。

↓

赤本で昨年度の過去問を実際に解いてみて、何点とれるか?

→ 261点以上がとれそうであれば、出願

→ 261点が厳しそうであれば… (下記の1～3のどれかを選択)

1) 志望校を下げる

2) 中期・後期日程(私大)で合格できそうな大学を出願しておく

3) 試験本番まで、全力で勉強する

【例】群馬 理工（電子・機械類、物質・環境類）前期

群馬大 理工 前				群馬大 理工 前			
電子・機械類				物質・環境類			
基準	580	B	555	530	505	580	B
共テ	2次		950	500	500	共テ	2次
1段階	倍( / )					1段階	倍( / )
定員	105		昨年倍率	1.8		定員	162
							昨年倍率
			昨年度			昨年度	
得点	今年	昨年	合格 不合格	得点	今年	昨年	合格 不合格
650	4	5	8	650	4	8	5
645	5	3		645	5	10	1
640	6	1		640			1
635	7	2		635			2
630	7	4		630	6		1
625		1		625	7	11	
620	9	1		620	8		1
615	10	8	1	615		12	2
610	13	9	1	610		13	2
605	14	2		605		16	4
600	16	11	A 3	600	13		A 2
595	18	13	3	595	14	19	4
590		14	4	590	16	24	9
585	19	19	3 1	585	17	26	6
580	A 22	21	4 2	580	A 19	27	3
575	23	24	B 5	575	30		B 2
570	24	4		570	22	35	5
565	27	28	5 1	565	27	37	10
560	28	32	4 1	560	30	39	6
555	B 31		5 1	555	B	35	3
550	33	37	C 9 2	550	39	41	C 8
545	36	41	4	545	41		4
540	38	43	3 1	540	44	46	8 1
535	39	46	3 4	535	49	53	6 1
530	C 48		3 2	530	C 52	57	3
525	43	52	D 4 1	525	55	59	D 6
520	49	54	2 5	520	65	65	8 1
515	54	56	2 3	515	73	72	4 1
510	56	58	5	510	81	80	9
505	D 63	59	2 4	505	D 89	85	5
500	68	62	1 4	500	97	93	6 2
495	71	64	1 2	495	102	95	4 2
490	74	66	2	490	106	98	4 1
485	75	70		485		105	2 1
480	77	75	1	480	120	106	
475	78	83	2 5	475	127	107	4 1
470	84	84		470	139	113	1 2
465	91	89	2	465	150	117	1
460	94	94	1	460	158	122	1
455	100	96	2	455	164	128	2
450	104	98	1	450	169	131	2
人数	177	152	106 70	人数	284	201	151 38
平均	470	481	572 492	平均	466	484	554 437
得点率	49.5	50.6	60.2 51.8	得点率	49.1	50.9	58.3 46.0
対昨年	-20	-11	-7 +25	対昨年	-25	-18	+154 +83

【共テ科目】 6教科8科目 情報 50点 → 950点

(100点→50点で換算)

【2次科目】 英・数・理から3科目 → 500点

・左図をみると、共通テスト結果（判定）通りに合格者がでています。2次（個別）試験の配点が500点ありますが、A、B判定で逆転はほとんどおきていないことがわかります。C～E判定にポロポロ逆転がおこっていることもわかります。D・E判定だからと勝手にあきらめてしまうのは、もったいないわけです。電子・機械類は共通テスト510点、物質・環境類は共通テスト475点を目安にした場合でも、合格の可能性があると思われます。ただ、他大学から志望先を変更する受験生や、「B」判定でも不合格者がでていますので油断は禁物です。

【例】高経（地域政策 5教科・3教科）前期

高経大 地域政策 5教科 前				高経大 地域政策 3教科 前			
基準 655 B 615 580 540				基準 310 B 295 275 255			
共テ	2次		950 : 400	共テ	2次		400 : 400
1段階	倍( / )			1段階	倍( / )		
定員	100		昨年倍率 2.5*	定員	100		昨年倍率 2.5*
得点	今年	昨年	合格 不合格	得点	今年	昨年	合格 不合格
750	2	5	1	400			
745				395			
740				390			
735	3	6	1	385			
730				380			
725	4	7		375	1		
720				370			
715	6	11	1	365			
710	13	1		360			
705	14			355			
700	7	16		350	2		
695	8	17	1	345			
690	11	21	6	340			
685	14	23	3	335			
680	A 15	25	A 2	330	5		
675	31	6		325			
670	36	5	1	320	8	6	1
665	17	40	3	315	8	A 2	
660	18	46	4 1	310	A 12	15	2
655	A 21	53	7 1	305	16	21	2 1
650	23	56	5 3	300	21	B 3	1
645	62	9	1	295	B 30	26	2
640	25	68	B 8 3	290	37	32	4 1
635	73	9	4	285	49	43	5 2
630	27	78	6 2	280	54	57	C 6 5
625	29	80	5 3	275	C 73	74	8 3
620	30	88	7 5	270	86	90	7 3
615	B 34	95	7 3	265	98	103	10 9
610	38	103	5 10	260	116	124	D 10 2
605	45	109	C 4 4	255	D 135	138	3 4
600	51	114	6 2	250	151	157	5 11
595	57	118	3 1	245	166	176	3 9
590	63	125	8 3	240	186	197	5 9
585	67	131	9 4	235	211	212	9 9
580	C 71	136	4 4	230	237	226	5 8
575	76	146	2 8	225	255	238	5 5
570	80	150	10	220	275	249	6 6
565	86	158	D 1 8	215	301	264	7
560	89	163	1 6	210	318	273	7
555	98	167	3 10	205	328	285	5
550	107	174	1 4	200	345	293	2
人数	233	281	153 172	人数	418	354	83 128
平均	535	573	627 551	平均	235	239	272 234
得点率	56.3	60.3	66.0 58.0	得点率	58.7	59.8	67.9 58.5
対昨年	-27	-38	-32 -48	対昨年	-7	-4	+175 +64

【共テ科目】 5教科5科目 英 RL (350点)

数・国・理・地公・情 → 4科目 (600点)

3教科3科目 英 RL (200点)

数・国・理・地公・情 → 2科目 (200点)

【2次科目】 数・地公 → 1科目 (200点)

小論文 (200点)

・左図を見ると、5教科5科目で「D」「E」判定の受験者が昨年よりも多くなっていることがわかります。また、3教科3科目の場合には、「E」判定の受験生から2次（個別）試験で逆転して、合格している受験生も多くみられます。

・高経の地域政策では、2次（個別）試験で「小論文」(200点)があります。3教科3科目の配点では、共テ400点：2次400点ですので、「1教科」+「小論文」が逆転の力ぎを握っています。後期日程まであきらめず頑張れば、合格のチャンスは十分にあります。